



平成27年度の一般会計補正予算第8号及び特別会計補正予算5件が可決されました。

一般会計(第8号)

行政システム管理事業

Q 情報セキュリティ強化のための工事は。

A 市政情報課長 特定個人情報を守るため、市のネットワークを個人番号利用事務、L G W A N及びその他のネットワークの3つに分けることが基本となり、インターネットと個人番号利用事務のネットワークを完全分離する。

番号制度推進事業

Q 増額補正の理由は。

A 市政情報課長 全国の個人番号カードの発行見込数が当初の1000万枚から2500万枚に修正され、人口割で地方公共団

体情報システム機構に払う交付金が増額となったものである。



マイナンバーのパンフレット

特別会計

一本松土地区画整理事業

Q 埋設ケーブルを今年度中に移設できなかった理由は。

A 区画整理課長 地下埋設物が多いこと等から存置する方向で協議しているものである。

若葉土地区画整理事業

土地区画整理事業に要する経費等を補正するものである。

国民健康保険

Q 高額療養費が増額になった理由は。

A 保険年金課長 1月審査分の入院分において、400万円超の請求が5件あったことによる。

後期高齢者医療

後期高齢者医療広域連合納付金に要する経費等を補正するものである。

介護保険

介護給付費準備基金積立金の追加に要する経費等を補正するものである。

市の考えを問う 一般質問

3月16日・17日・18日の3日間行われた一般質問の主な質問(Q)と答弁(A)の概要を掲載します。

Q

隠し続けてきた職員数の実態

長谷川 清 議員



A

スリムで効率的・効果的な行政運営を行う

質問一 志木市等よりも年間10億円以上も多い人件費の実態。

二 税金を市民サービスよりも人件費に費やす理由と責任は。

三 市長の考える財政改革と行政改革は。

答弁一(市長) 本市を含む県内類似団体16市で、地方財政状況調査の平成26年度決算普通会計人件費を比較すると、高い方から5番

目に位置し、平均より約3億5700万円高い。志木市と比較すると約6億1400万円高い。

二 本市では、9年度以降ほぼ毎年度職員数を削減してきたが、行政需要や必要な行政サービスをしっかり提供してきた。行政サービスは、事業費として予算計上しているものだけでなく、窓口や市民センター等、直接市民と相対し

て行われるものがあり、マンパワーによるサービスの提供も数多く実施している。今後、しっかりと市民ニーズを捉え、柔軟に対応していく。

三 最少の経費で最大の効果を上げるよう、歳入確保と歳出削減を両輪に、スリムで効率的・効果的な行政運営を行い、総合計画の将来像を実現していく。

◎その他の質問 職員の資質とやる気について

